

## 現在の学校

## 【学校設置の考え方】

「海を通して世界を知る」という観点の下、海洋教育や全寮制などを組み合わせ普通教科の充実を図り、**国際社会に貢献できる人材を育成**

## 【国際科(海洋国際科)】

## 主な学習の内容(概要)

1年次	2年次	3年次
<b>全員共通の内容を学習</b> ○学習内容 ・普通科目を中心に学習 ・海洋基礎科目(4単位)で海洋の基本を学習 ・国際科目も1単位学習  <b>○基礎航海</b> 5～6日程度(体験的内容)	<b>【国際系】</b> ○学習内容 普通科目と国際科目を学習(一部希望者は海洋科目を2単位学習可能) <b>○国際航海</b> 体験的な航海実習と、外地での国際交流、国際・海洋関連施設の見学・調査等 <small>※社会情勢から現在は国内航海</small> <b>【海洋系】</b> ○学習内容 普通科目と海洋科目を中心に学習(国際科目は1単位) <b>○国際航海</b> 船舶の専門的な運航技術学習、海洋観測、外地での国際交流、海洋施設見学等 <small>※社会情勢から現在は国内航海</small>	<b>【国際系】</b> ○学習内容 普通科目と国際科目を学習(希望者の一部は海洋科目を2単位学習可能) <b>○航海実習</b> 原則、実習無し  <b>【海洋系】</b> ○学習内容 普通科目と海洋系の大学進学に必要な最低限の海洋科目を学習 <b>○観測航海</b> 船舶の専門的な運航技術学習、研究者等とともに沖ノ島・南鳥島付近での海洋観測(希望者のみ)

## 【寄宿舎】

- ハウスマスターと舎監教員により宅習を実施
- 生徒の自律活動等により、自主性、自律性、協調性、生活習慣を育成

## 【国際教育・高大連携・地域との連携協力】

- 希望者への海外研修や国際系を中心とした英語教育の充実等を実施
- 東京大学、東京海洋大学や首都大学東京と連携した活動や大学生との交流
- 島内フィールドワークにより大島の自然や歴史等を学習

## 改革の必要性

以下の考え方に基づき、これからの改革に必要な検討を実施

## 【生徒・保護者等のニーズへの対応】

実習船での航海学習や寄宿舎生活への興味、関心を抱き入学を希望してくる生徒が多い状況

## 【海洋人材の育成への国家的要請の増大】

第3期海洋基本計画策定に向けた総合海洋政策本部参与会議報告書(H29.12)

海洋産業は世界に広がっており、**国際的に通用する技術者等の育成が急務**

## 【海洋立国を支える専門人材】

- ・国際的海洋資源開発従事者
- ・国際的海洋政策立案など
- ・船員等の即戦力人材
- ・潜水士等の海洋土木人材
- ・水産業の担い手

## 【大島をはじめとした地域や離島の振興】

「3つのシティ」の実現に向けた政策の強化(H30.1 東京都)

島しょ地域の魅力創出に向け、大島海洋国際高校においても、こうした取組に寄与する必要

## 検討中の学校像(案)

## 【教育理念】

「海に学び、未来を拓く。」という理念の下、7つの具体的な教育目標を**実践し、国際社会で活躍する海洋人材を育成**(目指す4つのキャリア像に応じた専門的で深い学びを実践)

## 【水産科(海洋国際科)に改編し、育成すべきキャリア像に応じた教育を実践】

## 主な学習の内容の方向性

1年次	2、3年次
<b>【海洋産業・海洋科学系】</b> ○学習内容 ・普通科目を中心に学習 ・海洋基礎科目で、船舶、生物、海洋産業などの基本を学習  <b>○基礎航海</b> 5～6日程度 海洋基礎科目で学んだ内容に関する基礎的な航海	<b>&lt;船舶運航技術&gt;</b> ・船舶運航技術の専門的な学びに必要な科目を中心とした普通科目をバランスよく学習 ・船舶関連法規や船舶運航技術などに関する専門科目を座学や実習によりバランスよく学習 ・5級海技士取得を目指した航海実習を実践  <b>&lt;海洋生物&gt;</b> ・海洋生物の専門的な学びに必要な科目を中心とした普通科目をバランスよく学習 ・海洋生物に関する専門科目を座学や実習によりバランスよく学習 ・海洋生物の資源量調査、生態調査などの航海実習を実践 ・栽培漁業技術検定などの資格取得を目指す  <b>&lt;海洋産業&gt;</b> ・海洋産業の専門的な学びに必要な科目を中心とした普通科目をバランスよく学習 ・潜水や海洋レジャー等に関する専門科目をバランスよく学習 ・各地での潜水実習などを含む航海実習を実践 ・潜水士、潜水技術検定1級などの資格取得を目指す
<b>【海洋創造系】</b> ・1年次は、普通科目を中心に学習しつつ、海洋基礎科目で資源や環境等の基本を学習 ・2、3年次は、海洋鉱物資源や海洋エネルギー、マイクロプラスチック等の海洋環境課題などについて、より探究的、総合的に学習 ・海洋鉱物資源調査、離島調査などの航海実習を実践 ・英検2級程度を目指すほか、全国海洋教育サミットでの発表や学会への論文投稿に挑戦	

## 【寄宿舎】

- より学習効果を高めるため、現在の宅習教育を見直しつつ、外部人材やICTを活用した学習、特別講座などの実施を検討
- 自主性、自律性、協調性、生活習慣など自立した人格形成に必要な教育を検討

## 【国際教育・高大連携・地域との連携協力】

- 海洋は世界にまたがることから、国際教育を全ての生徒に実施(Tokyo Global Gatewayの活用、大島海国版TEEPの検討、伝統・文化理解教育の推進等を総合的に検討)。
- 卓越した研究者をもつ大学や専門機関と連携した先端研究への参加、特別講義の実施
- 郷土の伝統や文化を学んだり、地域活動に参加するなど、更なる地域連携を検討